



## ラボ評価のためのインストール

---

この付録の構成は、次のとおりです。

- [ラボ評価のためのインストール](#) (1 ページ)
- [ラボでの Cisco Prime Network Registrar のインストール](#) (1 ページ)
- [ラボインストールのテスト](#) (2 ページ)
- [ラボ環境でのアンインストール](#) (2 ページ)

## ラボ評価のためのインストール

この付録では、評価目的で小規模なテスト構成をサポートするために、単一のマシンで Cisco Prime Network Registrar のリージョナルクラスタとローカルクラスタをインストール、アップグレード、およびアンインストールする方法について説明します。



**注意** 単一のマシンにリージョナルクラスタとローカルクラスタをインストールするのはラボ評価のみを目的としており、実稼働環境には選択しないでください。集約されたリージョナルクラスタデータベースは、DNS サービスまたは DHCP サービスも実行しているローカルサーバで合理的に配置するには大きすぎると予想されます。空きディスク容量が不足すると、これらのサーバで障害が発生します。

---

## ラボでの Cisco Prime Network Registrar のインストール

評価目的で単一のマシンに Cisco Prime Network Registrar をインストールするには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** Cisco Prime Network Registrar の 2 つの個別のインストールを格納するために十分な空きディスク容量がマシンにあるかどうかを確認します。
- ステップ 2** [Cisco Prime Network Registrar のインストール](#) の手順に従って、ローカルクラスタをインストールまたはアップグレードします。cpnr-local キットを使用します。

**ステップ3** 同じ手順に従って、同じマシンにリージョナルクラスタをインストールまたはアップグレードします。  
cpnr-regional キットを使用します。

---

## ラボインストールのテスト

インストールをテストするには、次の手順を実行します。

---

- ステップ1** ローカルクラスタの Web UI を起動してログインします。デフォルトでは、ローカルポート番号は HTTPS (セキュア) 接続の場合は **8443** です。
- ステップ2** データをリージョナルクラスタにプルするためのテストとして、DNS ゾーンと DHCP の範囲、テンプレート、クライアントクラス、または仮想プライベートネットワーク (VPN) を追加します。
- ステップ3** リージョナルクラスタの Web UI を起動してログインします。デフォルトでは、リージョナルポート番号は HTTPS (セキュア) 接続の場合は **8453** です。
- ステップ4** ローカルクラスタへのシングルサインオン接続について、リージョナルクラスタをテストします。DNS ゾーン分散、DHCP の範囲、テンプレート、クライアントクラス、または VPN をローカルクラスタからリージョナルクラスタのレプリカデータベースにプルしようとします。
- 

## ラボ環境でのアンインストール

ローカルクラスタを削除するには、[Cisco Prime Network Registrar](#) のアンインストールの手順に従ってキットに `cpnr-local` を指定します。

リージョナルクラスタを削除するには、[Cisco Prime Network Registrar](#) のアンインストールの手順に従ってキットに `cpnr-regional` を指定します。

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。